

FUKUSHIMA CAMP DAY開催

県産食材でキャンプ飯

福島県産農畜産物の美味しさをあらためて知ってもらおう！と9月3日（土）～4日（日）に猪苗代町の天神浜オートキャンプ場で、FUKUSHIMA CAMP DAYを開催しました。

参加者は個人の交流サイト(SNS)で全農福島から提供した福島牛、麓山高原豚、きゅうり、トマト、ピーマン、なす、アスパラガス、愛情しいたけ、たまねぎを使用した「キャンプ飯」を載せることが条件で限定30組が参加しました。

天候にも恵まれた初日はチェックインの9時を待つかのように、次々と集まり、お目当ての場所にさっそくテントを設置するなど、キャンプの魅力は一段と高まっています。

また、イベントステージでは県産農産物が当たるクイズ大会やビンゴゲームなどをおこないキャンプ以外でも楽しむことができました。

今回は季節を変えて、『キャンプでも鍋料理。もちろん食材は県産農畜産物！』などを企画したいと思います。



参加者が必ずもらえるお肉とお野菜セット



ちびっこはお肉の大きさにびっくり！ 大人は大喜び！



問題がやさしかったか？なかなか決まらない〇×クイズ



必ず盛り上がるビンゴゲーム！ リーチ！からビンゴ！までが長い!!!



参加者の様子



自分の好きな場所をまずは確保



まずは腹ごしらえかな？



お兄ちゃんの腕前を披露



豪華食材の前にパチリ



ソロキャン満喫中



夜のお食事も

オーストラリア大使館へ福島の桃を贈呈

全農福島は8月上旬、在日オーストラリア大使館に県産モモ「あかつき」60個を贈呈しました。ロバート臨時代理大使からは「東日本大震災からオーストラリアは福島を応援したい、と考えていた。今後も福島と連携していきたい。」と温かい言葉を頂きました。金成副本部長からは「昨年、福島のモモを食べた感想をSNSで発信していただいたおかげで、世界中に福島のモモをPRできた。深く感謝する。福島も引続き風評払拭に取り組んでいきたい」と述べました。



ロバート臨時代理大使㊦とリサ夫人㊦ 写真オースト大使館提供

飯坂小学校 野菜栽培 vol.3

小学生の夏休みも終了し、2学期が本格的にスタートしました。飯坂小学校2年生全員と一緒に進めている、野菜栽培授業。鈴木先生の特別授業は収穫した後の栽培管理や、自分で栽培して苦労したことを忘れずに、苦手な野菜との距離を縮めるお話がありました。



←初めてゴーヤを触る児童。順番待ちが続く。



→学校でメロンを栽培できることにびっくり